

「上関原発を建てさせない山口大集会 2020」について
(お知らせ)

みなさま

上関原発を建てさせない山口県民連絡会
事務局長 原 康司

1ヶ月後に迫った3月21日の上関原発を建てさせない山口大集会 2020について、新型コロナウイルスの国内感染の影響のなかで、集会をどうするのか、問合せや意見を多くいただきました。ありがとうございます。
国内感染の拡大を防止する観点から、以下のように決定しましたのでお知らせ致します。

大切なことは、私達の流れを止めるのではなく、続けていくことだと思います。
いわば雨や嵐の日にはデモを中止しても1000回を超える活動を続けてきた祝島島民のように。そして毎日平生の交差点に立ち続ける小中さんのように。

記

- 1, 山口市維新記念公園野外音楽堂の集会は、中止する。
- 2, 3月21日12時30分~40分の同時多発パフォーマンスは、各地で行い、「さよなら上関原発! 福島を忘れない!」の私たちの想いを全県全国へ伝え広める。要綱は、別途発表します。以上

事務局 局長・原 康司さんからのお知らせです。

2020年4月12日(日) 13時30分
場所 周南市役所 ミビック交流センター
交流室7


次々集り
0 私たち「原発いらん」山口ネットワークの例会も、3月は、お休みします。

新型コロナウイルスの感染拡大に対して、国の対応が後手々々となるなか、市民が自主的に判断するしかないと、ネット上での相談で、2月20日に「上関原発を建てさせない山口大集会」に集まるのはゆめのことになりました。

お知らせ。

2020年2月9日(日)の報告

原発いらん! 山口ネットワーク



386号

日本中、世界中で掲げよう! 上関原発を建てさせないあなたの想い

「上関原発を建てさせない山口大集会 2020」の山口会場は、中止となりましたが、上関原発を建てさせないという想いを世界中の津々浦々に響かせる同時多発パフォーマンスを行います。ぜひご参加ください。

参加方法

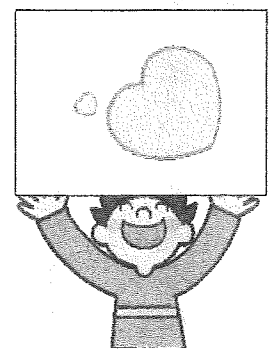
- 1 図柄をダウンロード(ご自身で描いてもOK)し、上関原発建設反対の想いを書き加えます。
- 2 3月21日(土)12時30分になったら、「原発反対」などの声を上げながら紙を掲げます。
- 3 その様子を写真に撮り、県民連絡会のメールアドレス(stopkaminoseki@gmail.com)に、同時多発パフォーマンスを行った場所や参加人数、メッセージなどを書き添えて送ってください。WEBやFB、Twitterに掲載します(写真に撮るのが難しい方も同時多発パフォーマンスを行ったことをご連絡いただくと幸いです)。ご自身がお持ちのSNSにアップされた場合も、ご連絡いただければ幸いです。

※なお事前に図柄に上関原発建設反対の想いを書き加えていただき県民連絡会のメールアドレス(stopkaminoseki@gmail.com)に送ってくだされば、WEBやFBで紹介します。

<図柄の説明>

今年一月、中国電力の清水社長は上関町を訪れ、二酸化炭素の排出削減の面から「上関原発計画の必要性はさらに高まる」と話しました。海上ボーリング調査も再開しようとしています。
中国電力が上関原発を建てようとしている田ノ浦の対岸約4km 足らずのところに祝島があります。祝島の島民は上関原発建設計画が浮上して以来一貫して「上関原発反対」の声を上げ続けています。その祝島は上空から見るとハートの形をしています。図柄は祝島とその先にある小祝島を表わしています。

3.21 12時30分~40分の同時多発パフォーマンスに参加しよう。
同封の紙のハート型をピンクにぬり、メッセージを書き加えよう。



代表者 小中 進
〒742-1513 山口県 熊毛郡 田布施町 麻御 2208
Tel, FAX 0820-55-6291
振込口座 (年費 2000円)
(郵) 01590-5-27469
口座名 「原発いらん! 山口ネットワーク」
作製・印刷
周防灘の自然を守る会
三浦 翠



3月14日に予定されていた上関町へのビラ入れは中止になりました。次回は未定です。

■ 小中進さんの72歳の誕生日の2月24日。

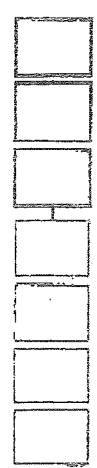
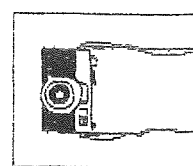
うれしい訪問者が田の浦に。

先日のテレビ報道で上関のことを知ったと、広島県福山市の駅前でカメラ店「照和堂」を営む吉岡龍三さん(理恵さんご夫妻)。

吉岡さんは、海とこの生物を子や写真集でもあり、写真集も出版されているという事です。次には上関の海の中の写真もとりたいたいとのこと。

26日には早速小中さんにお礼のハガキとご自身の写真集も送る予定という事です。

お小中さんを大感激させた吉岡さんからの郵便物を紹介します。



POSTCARD

小中進様
今日は お時間を取ってご案内くださり
本当にありがとうございます。
上関原発の現状とこの目で見て
主人も、反対の気持ちも改めて固くしました。
初めて訪ねた上関の美しさ、田の浦の
豊かさ、何となく開発計画をストップしなければ
と思えました。その為に何か少しでも力に
なればと思えます。私達の思いは
小中さんの強い思いにかなうものです。
どうぞ仲間として、様々なお声を掛け頂け
たらと思えます。可能な限り、掛けつけて参ります。

株式会社 照和堂 〒720-0043 広島県福山市元町1-27
tel/fax 084-923-0524
mail info@showa-da.jp
phone 093-892-6104 mj@12@softbank.jp
web http://www.showa-da.jp

お小中さんのブログにはこの日の写真がのこ
います。

この日は山岸近くはカムリウミスズメの家族
がやって来て、その写真もあります。

■ 1月22日、広島高裁で敗訴となった「上関(原発
用地)埋立禁止住民訴訟」

2月5日に、最高裁に上告しました。

原告団と弁護団の声明文です。 ↓ P ④

新聞記事 ↓ P ⑥

■ 1月17日、広島高裁から運転停止を言い渡され
た足検中の伊方原発3号機で、ゴットとするよう
なミス多発。

↓ P ⑥

それなのに四電は「平然」と使用済核燃料の乾式
貯蔵施設をつくる専門家の会議を開いたり、
広島高裁に異議を申し立てるあつかましく、

↓ P ⑥

まるで周辺に住む私たちの不安な気持ちをおろそ
かにしているようだ。

どうせ過酷事故は起り得るといふ前提なの
だし、事故が起きたとしても責任取らなくというのだ
し、と心配しているにすぎない。

■ 恐怖の伊方原発 ↓ P ⑨

②

■ その他関連情報

○ 温室効果が目撃提出を先送りー政府(2/24中)

○ 原発第三者委員会が来月中旬報告書(金品受領肉類
(2/26中))

○ 福島処理水放出時に「交換」IAEAトップ(2/27中)

○ 女川2号機検査合格(2/27中)

○ 次期電事連会長に九電の地辺氏(2/19中)

○ 原発進まぬ日本の地熱発電能力、10年で1%増
(2/16日経)

○ UAE、原発稼働を許可。プクダ諸(2/10中)

○ 日本製鉄、原子力・火山発電のネット向けタービン
管事業から撤退。

○ 原発30km圏にヨウ素剤。自治体へ、小泉環境相
事前配布要請(2/5中)

○ 原発検査4月から抜き打ちに。(2/3日経)

○ 福島第一処理水、海洋放出が優先。政府反発
強く動けず。(2/1日経)

○ MOX燃料、伊方原発3号機で初の取出し。
行き場なし、放射線量高く高温になり危険
(2/31日経)

○ 南海トラフ地震、津波確率公表(2/25日経)

● 例会の報告(2/9)

○ 参加地域 東広島、田布施、光、下松、周南、宇部

○ 小中代表より

● 今回から、はじめの時間を30分繰上げて13時30分からすることになりました。4時頃には終って帰る道が暗くならぬようにしよう。

● 1月25日に上関町の地元3団体と自治会、原発いっしょ、山ロネットワーカー、上関町へのビラ入れと、会議があり、終つてから「集いの場」の掃除をして帰りました。集いの場のまわりの木を切つてもらった上、木の葉もすつかり落らたので、窓からは祝島と田の沖の海がすつきりと視界に入るといふようになりました。

● 田の沖の予定地では中電が古くなったケーブルと撤去して、少し大きなケーブルに建てなおしました。やはりこれからやるということなのだと思えます。

● この日のビラは私たちがネットワークの担当だったので、次のような事を書きました。

● 祝島漁民に何のこともわりもなくボーリングをするのは、財産権の侵害で、憲法29条に違反すること。

● 民法105条によれば、漁業権は、すでに10年の時効をすぎた無効であり、中電は上関の海に対して何の権利も持っていないことなどを書きました。

● ビラの印刷は白黒で、500円以内で自治会の事務局でもうりました。

● 1月27日に、日本テレビ(NKY)が年末に田浦などを取材した番組が15分間全国放送されました。C/Rがありあがりか希望される方は申し出て下さい。小中さんのブログにも(動画ではありません)詳しく紹介されています。

● 視聴した人から、向う方に多くの反響があったという事です。

● 福島の事故があったのに、その原因究明もできず、

「ずい、跡始末もできないうちに新しい原発を造るとは何事か、」という怒りの声が多かったようです。

● 3月21日の「上関原発を建てさせない山ロ大集会」に向けて、東部でも実行委員会をやるという事になりました。

● 2/21、15時から田布施のサリジェでやりませう。

● 周南から山岩国市まで30人が集まりました。

● 宇部ではもう実行委員会を3回やる。30人乗りのバス2台で行くことになりました。

● 1ヶ月(旬)スピーカーつきの車を借りて、3/21に集まろう、と外宣もすることにしました。

● 賛同金は、宇部が25人を目標に、うちの団体が割り当て、集めることにしました。下関と宇部がはるかに集めて協議して決めました。(茨野さんより)

● 光・下松の会では、市民劇場の時ビラを配った戸別のビラ入れも、みんながやっています。

③

● 例会で話し合った「原発いっしょ、山ロネットワーク」のヤ2月号ビラができました。県内全域に配りませう。

● 私たちが2007年に周南市の文芸会館でやった

「山泉統一郎さんの講演会」のYouTubeは、86,577回も見られれています。

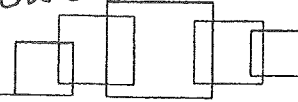
● 電子統計について。

● 村岡県知事は、土地需要があるからと、埋立免許の延長を許可したが、その根拠となる「重要電源周発地点の指定」そのものが現時点では適用しないものであることがわかる。

● 2001年に、二井知事が上関原発計画に同意したのを受け、国は上関「原発を」「電源周発基本計画」に組み入れた。これが、2005年に閣議決定だけで、殆んど誰も知らないうちに「重要電源周発地点の指定」になり、今日に到っている。

2020年1月22日、広島高裁2の敗訴の判決に抗議し、最高裁に上告する原告、弁護団の声明文です。2月5日記者会見で発表しました。

声 明



2020年2月5日

- 2020年1月22日、広島高等裁判所民事第4部（森一岳裁判長）は、上関原子力発電所用地埋立禁止住民訴訟について、山口県知事による理由のない判断留保は違法ではないとして、判断留保は裁量権の逸脱で違法として賠償を命じた山口地裁の判決を取り消し、住民側全面敗訴の判決（以下「本判決」という。）を言い渡した。
- 本件は、上関原子力発電所用地の公有水面埋立免許に関し、中国電力が竣工期限の前日に山口県知事に対し免許の期間伸長申請をしたところ、山口県知事が中国電力に度重なる補足説明を求めて伸長許可申請に対する判断を留保したことについて、かかる判断留保が違法なものである。
- 本判決は、公有水面の埋立免許の伸長許可について「正当ノ事由」の審査期間に一定の制限がある理由は、申請者の速やかに処分をしてくれることの期待や、拒否処分であっても今後の対応を考えるうえで早く知りたいという利益を主に考慮したものであるとし、申請者が判断の留保に任意に同意しているときは、原則として判断留保は違法にならないとした。そして、本件では、申請者である中国電力が、判断留保について任意に同意していたと認められることができるから、判断留保は違法ではないとの結論を示した。
- 本判決の内容は、申請者である中国電力さえ同意していれば、いつまでも公有水面埋立免許伸長の許可の判断を引き延ばすことができると言っているに等しいものであり到底納得することができない。公有水面という公共の財産の制限を認める埋立免許がいったん与えられれば、県知事と申請者の意思のみによって、公共財産の制限が無期限に認められるというのは、公有水面の制限を規制している公有水面埋立法の趣旨に明らかに反する。本判決は、公有水面埋立法の趣旨を活かして行政をチェックし住民の権利を守ろうとする姿勢が全く見られない。
- 原告団及び弁護団は、公有水面埋立法の趣旨を無視した山口県知事の行為を追認する本判決を到底容認することができない。最高裁判所への上告受理申立てを行い、上告審で本判決の誤りを正すべく、さらなる闘いを続ける。

上関原発用地埋立禁止住民訴訟 原告団
上関原発用地埋立禁止住民訴訟 弁護団

児玉順一医師の話を書く会
アピセンター6Fで著者です。
低線量内部被ばくと健康被害
5月4日（月）祝（14時）
周南市保健センター3F
同じを同じにします。

2001年に、国が上関原発計画を、電源開発基本計画に組み入れる際に審議された「総合エネルギー調査会電源開発分科会第一回議事録」を読んでみると、現時点で、上関原発用地の埋立理由にするには無理があると言わねばならない。
2001年時点では、早く原発を新設しないと、電力の供給が間に合わなくなる。
1号機は2012年、2号機は2015年に稼働を開始するという計画になっていたのだ。
その他様々な問題があります。議事録を読み込まれた市部市民の会の決野勝さんの文を紹介します。 ↓ P.5

裁判のこと
自然の権利裁判控訴宙宙（広島高裁）
2020年4月17日（金）13時15分
（判決）
伊方原発再稼働差止め裁判（本訴）
（石国支部）
2020年6月11日（木）14時
2020年10月29日（木）14時

イベント情報
3月28日（土）13:30~16:30
ルルサス防府多目的ホール
映画福島は語る「原発1000日」200日
（連）080-15336-6970 村田
4月11日（土）12時~ 防府市心づみコミュニティセンター
多目的ホール
いのちの水を守る 竹林阿武佐賀
運営委員会&パレード
主催 イーリスアショア配備計画の撤回を求める
住民の会外（連）090-13381-841

—公有水面埋立延長許可をめぐる—

二井元県知事は、福島原発事故後の県議会において「公有水面埋立延長は認めない」と発言。

つづく、山本、村岡両県知事は、許可判断を先送りし、2019年7月、村岡県知事は「上関原発の重要電源開発地点指定は今も有効、土地需要はある」と埋立延長許可を出しました。

二井元県知事は「免許は延長すべきでなかった。福島原発事故前の手続きをもって土地需要があると言うのは無理な法解釈だ。延長許可せずに一度状況を整理すべきだった」と述べています。

—上関原発を重要電源開発地点

に経産省が経過
細い入り口

国は指定する上で「県知事意見書」が必要であった。知事意見書は、平成13年4月23日、綿屋副知事によって、資源エネルギー庁に提出された。

意見書は、6分野21項目に渡り、瀬戸内の環境保全、地震対策、放射能汚染対策、防災対策、又、各自治体、団体の意見が提出されていた。

河野長官・「御同意頂いたと理解してよろしいですか」

綿屋副知事・「その様に理解して結構ですが、現在、用地取得の問題もありますし、山口県としては要望事項については誠意と責任ある対応を約束して頂きたいと思っております」

河野長官・「重く受け止め誠心誠意対応します」

1



—重要電源開発地点に指定した分科会—

分科会は8人の委員で構成、知事意見書提出後の平成13年5月16日、10時~12時30分、経済産業省で開催。

舟木 電力基盤整備課長が報告、山口県知事が認めていることが強調され、漁業補償、土地取得、地元との関係についての情報は、中国電力の報告が使われ都合良く事実が隠されている。

—舟木課長の地元報告—

・用地問題

「10ヘクタールの土地が未取得、神社の所有地そこに関しては、氏子さん4人の役員の内、3人は売却処分に前向き、役員の内、宮司さんは、反対と聞いておりますが3人の賛成の方は、神社庁に意見を出され神社庁で御検討されています。中国電力からの報告によれば着実に前進しているとのこと」

その後、土地を売らないと主張する宮司は、本人の知らないうちに偽の宮司辞任届けが提出され、土地は中国電力へ。

・漁業補償問題

「四代漁協、上関漁協は、上関町にある漁協ですが、すでに補償契約は締結されています。

沖合8漁協共有漁業権を管理している。第107号漁業権管理委員会は、中国電力と平成12年4月補償契約を締結しております」

上関町から祝島漁協が消され、祝島漁協は補償金を受け取っていないことが伏せられている。

・地元との関係

「昨年、公開ヒヤリングという地元の皆様の意見を伺う場を設けさせて頂きました。これも反対派の方々も、傍においでになりましたが無事に開くことが出来たという状況でした」

2

—委員の発言—

・松田委員 (財団法人原子力発電機構理事長)

「一番最初に思いますのは、瀬戸内で最初の原発であるということ。島の先端に位置し、特色は何だろうか気になるのです。水産物が色々あると思います。万が一の場合、大事故ではなくとも、通常のちょっとした問題の場合でも島に住んでいる方々、周辺の瀬戸内海に住んでおられる方々が安心されるように電力会社は、勿論ですが行政当局でも色々考える必要があるのではと思います」

・佐竹委員 (財団法人農村開発企画委員理事)

「松田委員の御指摘は大切かと思えます。埋立問題についても、行政に対する不信感が増えているという気がします。おおよそ科学的に考えれば絶対安全というものとは不可能な話であって、少しややこしくても、きちんと議論し説明をして、そして、最悪の場合でも色々手が打ってあるという、そういう姿勢を示して頂くことが、行政に対する信頼を繋ぐ所以であると感じます」

・岩崎委員 (筑波大学社会科学系教授)

「私も安全だけでなく安心というのは、非常に重要だと思います。東海村JCO臨界事故の近い所に住んでいたもので良くわかります。お聞きしたいのは、昨年、島根3号機を認め、1年も経たないうちに中国電力原子力発電2基が上がってきたのですが、もう少し納得の行く説明をしてください。それから知事文書には、あちこち色々問題がある様に言っておりますが、外から見れば見切り発車的な印象があります」

舟木課長・「上関原発建設をこの時期に指定しないと将来電力供給に支障が出ます。計画期間は、平成13年から22年度までの10年間でございます」

濃野分科会長・「ありがとうございました。それでは御意見がないので、その様にさせて頂いていただきます」と組み入れ決定。

3

分科会は、2時間余りという短時間で各委員から出された見識に基づいた貴重な意見は、深められず又、知事意見書も真剣に討議されることはなかった。

さらに驚くべきことは、報告の最後に「基本計画は、総理大臣を始め各大臣全て了承されております」と結んだことに分科会の役割が表れています。

4

「上関原発建設計画の白紙撤回を求める宇部市民の会」の会報<8号>に、代表の浜野さんが書かれた文を単載させて頂いたことになりました。

この審議会の出席者は15名

資源エネルギー庁の官僚が、河野長官舟木課長を含む6名。

松田委員、佐竹委員、岩崎委員

濃野分科会長は、肩書きのかわらない、この審議会に選ばれた委員。

説明者は、杉山電源開発(株)取締役社長。

A419ページの見事録で。

5

**原発埋め立て
控訴審が結審**

広島高裁

中国電力上関原発（上関町）建設予定地の海を埋め立てる免許を巡り、自然保護団体や住民たち49人が県に取り消しを求めた訴訟の控訴審第2回口頭弁論が24日、広島高裁（三木昌之裁判長）であり結審した。4月17日に判決を予定する。

一審山口地裁は、原告側に裁判当事者としての適格性を認めず訴えを却下。原告側は、埋め立てによる自然の破壊や原発事故が起きれば避難不可能な住民の存在から法律上の利害関係を主張し、原告適格を認める

よう訴えている。県は控訴棄却を求めている。また昨年2月の控訴後、中電からの申請を受けて県が7月に免許延長を許可したため原告側は訴えの内容を変更をした。

自然の権利裁判 4月17日判決 2020年

祝島の漁民の裁判

**上関原発訴訟
漁業者が上告**

中国電力上関原発（山口県上関町）建設予定地の海の埋め立て免許を巡り、地元漁師が県に取り消しを求めた訴訟で、原告の漁師19人が29日、原告としての適格性を認めず請求を棄却した15日の広島高裁判決を不服として最高裁に上告した。

**上関原発訴訟
原告団が上告**

中国電力による上関原子力発電所建設予定地の公有水面埋め立て免許の延長について、知事が許可の判断を先送りしたのは違法などとして、建設に反対する住民らが知事を相手取り計約20万円の損害賠償などを求めた訴訟で、原告団は地裁判決を取り消した2審・広島高裁判決を不服として、最高裁に上告受理を申し立てた。申し立ては4日付。

2018年7月の1審・山口地裁判決では、村岡知事らによる判断留保の違法性を認定。しかし、先月22日の高裁判決は「申請者中国電力」が同意するなど合理的理由があれば違法ではない」とし、住民側の請求を棄却した。

原告団らは5日、県庁で記者会見し、「2審判決は、住民の権利を守ろうとする姿勢が全く見られない。到底容認できない」と訴えた。

上関原発用地埋め立て住民訴訟

伊方停電トラブル

定検中 作業当面見合わせ

25日午後3時45分ごろ、常用ディーゼル発電機が起動するなどして約10秒後に復旧した。四国電は「ほぼ全ての電源が一時的に喪失した」と説明。詳しい原因を調べている。放射性物質の漏れはなかった。

四国電原子力本部の渡部浩本部分部長は、同日深夜に愛媛県庁で開いた記者会見で「一瞬とはいえ外部からの電力供給が途絶えたもので、重大なもの認識している。申し訳ない」と謝罪。同席した愛媛県の担当者は「県民に不安を生じさせたことは誠に遺憾。看過できず、厳しく対応していく」と述べた。伊方原発ではトラブルが相次いでおり、四国電は定検の全作業を当面見合わせると表明。27日には担当者が中村村広知事らを訪ね、改めて説明と謝罪をする方針。

20.2.7.中口
燃料プール冷却43分間停止
四国電力伊方原発（愛媛県伊方町）が一時電源を喪失したトラブルで、3号機の核燃料プールの冷却が43分間停止していたことが6日、四国電への取材で分かった。プールの水温は電源喪失前の33.0度から34.1度に上昇した。四国電によると、規定の上限温度は63度で「安全性の問題はない」とした。



保全異議などの申し立てについて説明する佐川副部長

とも実施し、いずれも活断層でないことを確認している。仮処分決定は運転禁止期間を、山口地裁岩国支部で係争中の3号機の運転差し止め訴訟の判決が出るまでとしたが、判決の時期の見通しは立っていない。四国電は異議申し立ての方針を示していたが、仮処分決定後の1月下旬に3号機で一時電源喪失などのトラブルが相次ぎ、申し立てを見送っていた。広島市中区で記者会見した四国電原子力本部長の佐川憲司副部長は「トラブルの原因は調査中とした上で『このまま申し立てをしなければ、原発の安全性に対する地域住民の不安を助長すると判断した』と説明した。」

立憲民主党の枝野幸男代表は26日、3号機の運転を再開しないよう求めた。伊方町で記者団に、制御棒を誤って引き抜いたトラブルが起きたことも挙げ「重大な事故につながるかねない問題を相次いで起こし、安全への説得力が失われている。停止すべきだ」と述べた。

四国電によると、停電は電気を供給する送電線の部品の取り換え作業中に発生。送電線を保護するために電線を遮断する装置が作動し、停電が起きた。作動の原因は分かっていない。廃炉の方針を決めて運転停止中の1、2号機はすでに別の電源から受電し、3号機も非常用ディーゼル発電機が起動した。

四電、異議を申し立て

伊方原発差し止め 広島高裁へ

20.2.20.中口
四国電力は19日、伊方原子力発電所3号機（愛媛県伊方町）の運転禁止を命じた広島高裁の仮処分決定を不服として、同高裁に決定の取り消しを求める保全異議を申し立てた。異議の審理は、同高裁の別裁判長が担当する見通し。

1月17日の仮処分決定は、原発の約600m沖を通る中央構造線断層帯が活断層の可能性が否定できないと判断。海上音波探査で活断層でないことを確認済みとする四国電の主張を「調査が不十分」と退けた。これに対し、四国電は今回の申し立てで同断層帯について「海上音波探査は国土地理院や大学の研究グループな

（松本輝）

原発のPR館 診療所に転用

上関に20年発電所建たず来館3分の1

中国電力は4月から、山口県上関町の原発PR施設「海来館」を町の診療所の施設用に貸し出す。上関原発の計画に合わせ1999年に約1億円かけ建設したが、原発計画の停滞や福島第1原発事故などもあり、来館者はピーク時の3分の1に落ち込む。中電は「地域との共存のため貸し出すが、原発の理解活動の後退ではない」としている。(堀晋也)

中電、町に貸与へ

海来館は原発の必要性などを展示や体験を通して学ぶ施設。原子炉圧力容器に使った厚さ170mmの鋼鉄板や原子炉建屋の直径51mmの鉄筋などが並ぶ。米など身近な食品などから出る放射線量の計測やハンドルの回して発電する体験コーナーも。また、原発とは関係ないが管廊屋にマッサージュエリアなどもあり、住民の憩

いの場になっている。近所の70歳主婦は「毎日来ている」と笑顔をみせるが、2月3日に休館する。医師不足に悩む町は、4月に新たな常勤医を迎えるめどが立ったが、すぐに使える診療所がないため、中電に暫定的に海来館の借り受けを申し出た。中電上関原発準備事務所の松岡良典広報部長は「医師確保は町

上関町は25日、2020年度当初予算案を発表した。一般会計は19年度比26・2%増の40億9700万円と3年ぶりの増額編成。庁舎を近くに建て替える工事が本格化するため、普通建設事業費が14億4900万円と83・0%膨らんだ。

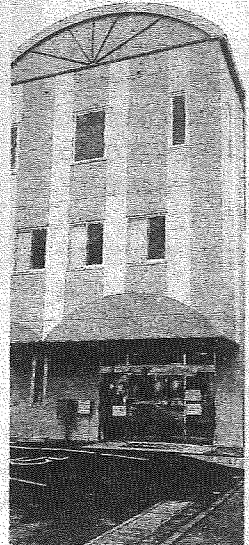
上関町26%増40億円 20年度予算案

歳出は、20年度中の完成を目指す新庁舎の建設に9億2100万円を投じる。離島の祝島で21年度に予定する小学校再開への準備などに4千万円を充てる。新規事業は17件。歳入は、町税が6・9%減の1億7000万円。人口減に加え、風力発電用の

風車の完成で工事業者が減ったため。財政調整基金を8300万円取り崩す。原発関連交付金は特別会計と合わせ、19年度比微増の8100万円を見込む。特別会計では、中国電力の原発PR施設を4月6日に町営の診療所として開院するため、賃借料など6800万円を計上した。19年度に発電を始めた風力発電関連は31・5%減の2億2



中電が上関町に診療所用施設として貸し出す原発PR施設「海来館」



動画は中国新聞デジタルで

電力会社はかつて原発の近くにこうした施設を次々と設置。海来館は2018年度までに21万7636人が訪れたが、来館者は初年度の1万7273人から福島第1原発事故を挟んで18年度には3分の1の5437人にまで減少している。柏原重海町長は「原子力関係施設で迷ったが、診療所の開設に間に合わせるにはほかにない」と説明。原発関連の展示物については

「投資した中電には申し訳ないが(原発の)色合いはななく診療所とする」と述べ、撤去する方針だ。

い。私は炭素税的なもの、CO₂の排出ってものに対して、量が多ければそこに対して罰金取りますっていう形にして、世界からご理解をいただく必要がある。申し訳ない、うちは地震国で原発はまだこんなにあるって。これから安全な状態に移すまで、火力という部分もしっかり技術革新していくので、一定の猶予期間を認めていただくしかない、私は思います。有難うございます。

本の紹介

「汚染食品」
日本だけが知らない
原内海 監・内科 二区

コサブル社

⑧の山本太郎さんの記事のつづきです。

9000万円、2年連続で5千万円を一般会計に繰り入れる。(堀晋也)

そこで、じゃあエネルギーは何にするんだというところ、今のところメインで回しているのは火力しかないんですよ。火力の中でも、私は環境負荷が少ないといわれているLNG、液化天然ガスを使っていく。これに対して技術革新により環境負荷が少なくなっていくような研究にお金を投資するということも、これ成長産業だと思います。これでやっていくしかない。

今の国の、特に原子力のロジックに乗っちゃおうと、CO₂の排出、原発が一番少ないんですよ、にされちゃうんですね。火力ますいんでしょって。これは、一番危ないってことですよ。

私は国土が汚され、人々が生業(なりわい)を失い、何百年にもわたって、収束活動を行わなければならないような原発は、(福島)1回で分かれて話なんです。誰も責任を取らないような事故が起こるようなものは、やってはならないってことですよ。

そうはいいいながらも、当然、9歳男性のおっちゃんのようなこと、CO₂の排出、少なくする方がい

本の紹介

『「イージスアショアを追う」
秋田魁新報 取材班
2019年度新聞協会賞 受賞

1600円

あの仰角のあやまりを現つけたのは秋田魁(あきたけい)新報という地元紙の記者たちだった! 記者たちの渾身の取材が真実を明らかにしていった感動の記録。

2017年11月27日

「脱原発を求める全国の市区町村長やその経路者」のついでに、脱原発をめぐる自民党議員は16日、福井県敦賀市で記者会見し、核燃料サイクルを柱とする原子力政策を見直し、国内の全原発を廃炉にするよう求める緊急声明を発表した。近く国会に提出する。

日本原燃の使用済み核燃料再処理工場(青森県六ヶ所村)の稼働条件となる審査を原子力規制委員会が進めていることを受けた声明。

日本原子力研究開発機構の高速増殖原型炉もんじゅ(福井県敦賀市)は、燃料が相次ぎ廃炉となるなどしており、元東京都小金井市長の佐藤和雄事務局長は会見で「国が進める核燃料サイクルは、既に破綻している」と述べた。佐藤事務局長らは、運転開始から40年を超えた原発は再稼働するべきではないとも指摘。東京電力福島第1原発で増え続ける放射性物質トリチウムを含んだ水を、海洋放出の方が確実に処理できると強調した提言案を政府小委員会が1月に大筋で了承したことを受け、放出せずに長期保管するよう求めた。



次期衆院選の山口4区に竹村氏(右)の擁立を説明するれいわの山本代表

次期衆院選の山口4区にれいわ新選組が公認候補の擁立を発表し、県内全4小選挙区で野党の立候補予定者が出そろった。迎え撃つ与党自民党は現職4人がいずれも厚い後援組織を誇り、党県連は「今回も圧勝を目指す」と強気の構え。自民党王国の山口で野党共闘をどこまで進められるかが今後の焦点となる。23日関係者。

「圧倒的強さの安倍さんに小選挙区では勝てない。もちろん熱は入れるが、比

県内野党顔ぶれ出そろった

衆院山口4区れいわが擁立

自民王国で共闘進むか

次期衆院選 県内各政党の顔ぶれ

与党(自民)	野党
高村正大	1区 大内一也(国民)
岸信夫	2区 松田一志(共産)
河村建夫	3区 坂本史子(立民)
安倍晋三	4区 竹村克司(れいわ)

※敬称略。ほか1区に諸派の河井美和子が表明

例復活が現実的だ。26日に県庁で記者会見したれいわの山本太郎代表は率直に語った。安倍晋三首相(65)の地元山口4区に擁立する竹村克司氏(47)と並んだ山本代表は「4区で野党は

安倍政治を許さないとのスローガンで戦ったが、失礼な言い方だが泡沫的だ」と指摘。「下関から国会議員をもう1人出せる比例をアピールする」と訴えた。

県内の野党ではこれまでに、1区に国民民主党の大内一也氏(46)、2区に共産党の松田一志氏(62)、3区に立憲民主党の坂本史子氏(64)が立候補の意向を表明。児童文学作家の那須正幹氏が共同代表を務める「市民連合@やまぐち」の呼び掛けで1月に3人を街頭でお披露出した。

次期衆院選を巡り各党は単独では自民党と戦えないとの見方で一致。昨夏の参院山口選挙区では大内氏が統一候補となったが、原発への各党の主張が折り合わないなど不協和音も目立ち大敗。国民県連の小田村克彦幹事長は「衆院は政権選択選挙。参院以上に政策をすり合わせる必要がある」と

と共闘の難しさを認める。消費税率5%への引き下げを野党共闘の条件に掲げるれいわとのスタンスには各党県組織に温度差も。立民県連代表はこの日の会見を見学した坂本氏は「協力を調整したい」と前向きなのに対し、共産県委員会の佐藤文明委員長は「うちは比例が軸」と述べ、比例復活を視野に入れる山本代表の考えに戸惑いもみせる。

一方、自民党現職は1区が高村正大氏(40)、2区が岸信夫氏(60)、3区が河村建夫氏(77)。後援組織や全員が自民党員の首長、地方議員が手厚く支える。「れいわは他の野党よりは勢いがあり一定票を集めるだろう」と話す自民党県議の一方、県連の友田有幹議長は「野党共闘と叫んでも何を共闘しているのか。こちら

は全選挙区で圧勝を目指すだけ」と自信をみせる。

県内ではこのほか1区に諸派の幸福実現党の河井美和子氏(57)が立候補の意向を表明している。

YouTube 山本太郎に質問する子どもたち (小・中・高校生) 2019年12月28日公開(抜粋・要約)

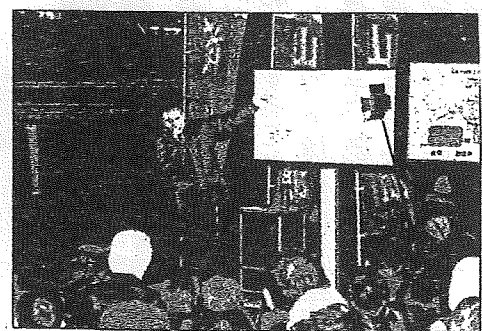
この記録は、れいわ新選組・山本太郎代表が各地で行なった街頭演説会での、子どもたちの質問をまとめたものです。(チラシ作成者が文字起こし)。

【地球温暖化を心配する9歳】

小学生 あと10年ほどで地球温暖化が人間の手に負えなくなる限界点があるらしいのですが、山本さんは、日本はこれからどうするべきだとお考えですか。

山本 おいくつですか。「9歳です」。あっ、9歳。9歳男性からのご質問をいただきました。有難うございます。

地球温暖化、このままいけば、やばいことになるよというお話だと思います。一体これに対してどういう手当をしていくかということだと思います。



密着・れいわ新選組ツアー関西in京都・長周新聞

今の日本のエネルギーをみていくとき、私は原発をやめなきゃいけない、直ぐにでも、ということです。理由は、大きな災害がやってくると、テレビでも新聞でもしょっちゅう言われています。それは南海トラフとか、東海地震とか、首都圏直下とか、大型の地震がやってくることです。

一方で、南海トラフは土木学会の試算では、20年間で経済的損失1400兆円レベルってっているんですね。それぐらいの大災害が起きるのに、原発耐えられるかって言ったら、私は耐えられないと思う。原発は、やめるしかないんですよ。

だって、(福島には)収束の方法も分からないメルトダウンした原発がまだ3つもあるんですよ。国民の生命、財産を守るのが政府の役目というのであれば、私は原発の一刻も早くやめる以外にない。これ安全保障の問題を言っている人たちにも言いたいです。日本海側にあんなに原発あって、超ターゲットなんです。安全保障上の。そういった他国の緊張っていう部分を考えてとしても、原発は一刻も早く撤退する以外にないんです。

目からウロコの“原発事故” 東海アマブログ 四国電力は、ただちに伊方原発を廃止せよ！

東海アマブログ 恐怖の伊方原発

2020年01月26日(日) (抜粋)

労働安全衛生の世界では、「ハインリッヒの法則」が広く知られている。

労働災害における経験則の一つである。1つの重大事故の背後には29の軽微な事故があり、その背景には300の異常が存在するというもの。「ハインリッヒの災害トライアングル定理」または「傷害四角錐」とも呼ばれる。

大雑把に言えば、大事故＝過酷事故というものは、決して突然、理由もなく起きるものではない。

大事故が起きる前には、それを予感させる、たくさんの小事故が起きて、そのうちの 하나가 大事故になるというわけだ。

これは、日常生活のトラブルから、企業災害、交通事故、学校災害、そして原発事故に至るまで、あらゆる現場に共通する絶対的な法則である。

東京電力、福島第一原発が起こした巨大過酷事故でも、地震や津波による予期せぬ不可抗力の事故だったわけではない。

東京電力の体質ともいえる、たくさんの事故隠しによって、「問題は隠せばいい」と現場が考えるようになってしまった積年の体質が、とうとう、世界史に残る巨大過酷事故を呼び寄せてしまったのである。

東京電力原発トラブル隠し事件 福島第一原子力発電所のトラブル (末尾の参考資料(ウィキペディア)参照)

1978年11月2日に東京電力福島第一原子力発電所3号機で起きた臨界事故は、世界初の巨大メルトダウン事故まで、あと数時間、まさに危機一髪の恐ろしい事故であった。

東電は、表向きにたいした事故でないように装い、中性子が測定限界を超えて外部に放射能が漏れ出すレベル3以上の事故であったのに、国にさえ報告せず、世間から隠し通してきた。

明るみに出たのは、2000年代に入ってからである。

上に紹介した無数ともいえる事故発生と、隠蔽の結果、2011年3月の巨大事故が起きた。「大事故は嘘をつかない」。一つの重大事故は、無数の小事故を従えたピラミッドの上に発生するのである。

今回の伊方原発のトラブルも、わずかであっても、「全電源喪失」が発生しており、原子炉の構造上、もし稼働中に全電源喪失が起きたら、冷却不能→熱暴走、わずか3時間で、核燃料被覆管ジルカロイが水素を発生して溶融が始まり、24時間後には、メルトダウン事故となり、水素が充満して爆発を引き起こし、莫大な放射能を環境に放出することになる。

原子炉冷却不能事故の守護神として設置されているECCS(緊急炉心冷却装置)は、残念ながら「全電源喪失」では起動させることさえ不可能である。だから、全電源喪失は、原子炉の事故としては、もっとも危険であり、絶対に避けねばならない深刻さを持っている。

伊方原発で一時、全交流電源を喪失(2020年1月26日 愛媛新聞)

そして、その直近前に起きた核燃料落下信号事故と制御棒事故も衝撃的だった。

伊方原発で一時、全交流電源を喪失

2020年1月26日(日) 愛媛新聞



伊方原発でトラブルが相次いでいることを謝罪する四国電力の渡部浩・原子力本部付部長(左)ら=25日午後10時40分ごろ、愛媛県庁

愛媛県は25日、四国電力伊方原発(伊方町)で一時的に原発内の全交流電源が喪失したと発表した。四電は原因が究明されるまで、3号機で実施中の定期検査を全て停止するとした。

1~3号機の設備に電源を供給する送電関連設備の交換作業をしていた際に遮断器が作動し2、3秒間、全交流電源が喪失。3号機では非常用ディーゼル発電機が自動起動した。

四電によると、1~3号機の全交流電源喪失は初。伊方原発では1月に入り3号機の燃料集合体から誤って制御棒を引き抜くなどのトラブルが相次いでおり、県が即時公表しているA区分の異常は今回で3件目となった。

わずか半月の間に、三件もの、場合によっては避難警報を発令すべき内容の深刻な事故が続いた。

まさに、ハインリッヒの法則を地で行くもので、次はいつ巨大事故が起きるのか? と誰もが固唾をのんで見守る事態になっている。

規制委は、「前例のない事故」と記者会見で謝罪した。

そもそも、伊方原発をはじめ、西日本の大半の原発が「加圧式軽水炉=PWRを採用している。

規制委員長「前例なし」 異例のトラブルと強調 伊方3号・制御棒引き抜き

1/16(木) 8:00配信 愛媛新聞ONLINE(抜粋)

四国電力にトラブルの原因究明を求める原子力規制委員会の夏田憲志委員長=15日午後、東京・大本木



定期検査中の四国電力伊方原発3号機(愛媛県伊方町)で核分裂反応を抑える制御棒1体を誤って引き抜いたトラブルについて、夏田委員長は15日、東京・大本木の原子力規制庁であった定例会見で「私たちの知る限りで前例はない」と異例のトラブルだったと強調。同日の定例会合で、規制委の山中伸介委員は「事業者の深刻度や捉え方が少し軽すぎるのではないかと指摘した。

これが意味するところは、沸騰水型=BWRが80気圧を使用するのに対し、PWRでは150気圧を使用するのである。

これが、どれほど恐ろしいものかは、後藤政志さんが映像データを公開してくれている。

<http://www.ustream.tv/recorded/16535937> (35分あたり)

おまけに、加圧水型原子炉は、圧力容器の鋼鉄に中性子が当たって激しく劣化してゆく性質があって、これを「脆性劣化」と呼ぶ。

この現象については、あまりよくわかっていなかったため、原子炉内に試験片を置いて、数年ごとに取り出して劣化の具合を確認するという作業が行われている。

すると、玄海原発では、常温で脆性が起きていることがわかり、九電は稼働に固執したが、結局、危険性を批判され廃炉を強いられている。

玄海だけでなく、若狭の原発群も同じように劣化が進み、とりわけ高浜原発は、すでに廃炉決定された玄海に匹敵するほどの脆性劣化が進んでいるとの告発がある。

<https://onic.jp/6645>

実は、伊方原発でも、同じような指摘があった。

<http://ima-ikiteiruhushigi.cocolog-nifty.com/nature/2012/03/post-c5d6.html>

伊方も、いつ圧力爆発を起こすかわからない危険原発としてリストアップされている。



●半分以上で地震を起こすリスクが高い

●最大M8以上

(上図は、チラシ作成者が「東海アマブログ:伊方原発再稼働が高裁で否定された」に加筆したもの)

おまけに、伊方原発は、世界有数、日本最大の「中央構造線」という超巨大断層の真上に作られていて、もしかしたら、南海トラフと連動して、とてつもなく危険な地震が起きる可能性がある指摘されている。

度重なる苛酷事故級のトラブルに加えて、脆性劣化による圧力爆発、中央構造線の巨大地震と、伊方原発は、まるで、この世のリスクというリスクを一身に背負っているようだ。

これだけ揃えば、ハインリッヒの法則から苛酷事故が起きない方がおかしい。

だから、私は、フクイチの次に巨大事故を起こす原発は、若狭原発群と伊方原発を挙げてきた。

今月起きた、制御棒引き抜き事故も、全電源喪失事故も、伊方原発関係者は「原因不明」としている。

これが一番怖い。日本の全原発の累積運転時間は、1966年から2018年までの52年間に、83万6千時間だが、今回のケースは、まったく初めてだと規制委が説明している。

すなわち、誰も経験したことも、想像したこともなかった、制御棒無断引き抜きと、全電源喪失が起きたのだ。とりあえず四国電力は、定検も中止、原因説明を待つとしているが、東電なら、事態を隠蔽するか、適当に原因を捏造して稼働するだろう。深く中断したのは正しい判断である。

いずれも、巨大放射能環境汚染事故を引き起こす疑いがあるからだ。



しかしながら、人間としての常識があるならば、中央構造線という世界的活断層の真上に伊方原発を建設した判断も、極めつきの非常識であった。

これは南海トラフの巨大地震対策として、安定していると思われた瀬戸内側に建設したのだろうが、航空写真を一目見れば誰でも分かるような巨大断層の活動を考えなかったというのは、どうみても知能が劣っているか、強欲に突き動かされたかと思えない。

四国電力は、全人類の安全のため、ただちに伊方原発を廃止せよ！

もし、フクイチのような苛酷事故が起きたなら、皇族や安倍晋三が株を保有していない四電などは、たちまち倒産してしまう。

倒産後、いったい誰が、誰の金で後始末するのか？ 四電が人類の明るい未来を求めたら、深く、原発から手を引け！

参考資料 (ウイキペディア/抜粋・要約)

●東京電力原発トラブル隠し事件

2002年に発覚した東京電力(以下東電と略)管内の原子力発電所のトラブル記録を意図的に改竄、隠蔽していた事件。

当時の社長らが引責辞任し、産業界に大きな影響を与えた。

内部告発

2000年7月、ゼネラル・エレクトリック・インターナショナル社(GE)から東電福島第一原発、福島第二原発、柏崎刈羽原発の3発電所計13基の点検作業を行ったアメリカ人技術者が通商産業省(現経済産業省)に以下の内容の告発文書を奥名で送った。

- 一、原子炉内のシュラウドにひび割れ六つと報告したが、自主点検記録が改竄され三つとなっていた
- 二、原子炉内に忘れてあったレンチが炉心隔壁の交換時に出てきた

告発を受け、原子力安全・保安院(以下保安院と略)は事実関係を調査した。2001年1月以降、GE社員から複数の点検記録の写真も添えられ、信憑性の高い文書も届くようになったが、東電は「記憶がない」、「記録がない」などと非協力的な態度を示したことから調査は非常に難航した。定期点検とは異なって自主点検には資料請求義務はなかった。

しかし2002年2月、GEが保安院に全面協力を約束する。その結果、東電も不正を認めざるを得なくなった。

謝罪・辞任

8月29日、保安院は会見で東電の不正を報告する。その夜、築館勝利常務が緊急記者会見を行い、「なお未修理のものが現存するが、安全上問題ないことを確認した」と強調。翌日、南直哉社長は記者会見し、「このような疑惑を生じたのは誠に残念で、社会に深くおわびを申し上げる次第です」と陳謝。また福島第一3号機、柏崎刈羽3号機で予定していたプルサーマル計画を無期限凍結すると発表した。

9月2日、南直哉社長はじめ、社長経験者5人が引責辞任。会見で南社長は福島第一1号機で日本の法律では許可されていない「水中溶接」での傷の修理を認め、発覚を恐れ、改竄したと述べた。「言い訳になってしまうが、どんな小さな傷もあってはならないという基準が、実態に合っていない」とも述べた。

刑事告発

経済産業省は、組織的に改竄が行われていた疑いがある

と見て、原子炉等規制法で東電を刑事告発も視野に入れたが、結局厳重注意にとどまった。

改竄内容

福島第一原発、福島第二原発、柏崎刈羽原発の原子炉計13基において、1980年代後半から

1990年代にかけて行われた自主点検記録に、部品のひび割れを隠すなどの改竄が29件あった。

●福島第一原子力発電所のトラブル

東京電力福島第一原子力発電所で発生したトラブルの内、2011年3月の爆発事故前に起こったトラブルについて説明する

定量的傾向

館野淳は1997年までの各機のトラブル件数を下記のようにまとめている。

1号機: 68件	2号機: 42件	3号機: 24件
4号機: 10件	5号機: 18件	6号機: 14件

初期に建設されたプラントにて不具合が多い傾向が

10

見られ、館野の著書(『廃炉時代が始まった—この原発はいらない』)でもそういった傾向には触れられているが、1980年に『投資経済』が取材した際の回答によれば、4号機以降では先行機の経験をフィードバックして最初から改善策を盛り込んだため、配管において1970年代後半に1~3号機の稼働率を低迷させた応力腐食割れ問題は起こっていなかったという。

トラブル一覽

下記は報道、公表されたトラブルの一部であり、小規模な事故は建設当初から発生している。

1973年6月25日 放射性廃液漏洩事故

原因は作業員のミス。しかし、大熊町への連絡はなかった。「地元をないがしろにし、場合によってはその信用を失ってもやむをえない」と大熊町は強く批判した。

1976年4月2日 2号機構内火災事故

外部には公表されず、東京電力は内部告発で事故を認めた。

1977年 作業員墜落死亡事故

1978年11月2日 3号機臨界事故

日本で最初の臨界事故とされるが、公表されたのは事故発生から29年後の2007年3月のこと。報告によると、1978年11月、同記録の計測限界を示す状態が約7時間半続いていたことが記されている。原因は制御棒の水圧を調節する戻り弁の操作ミスで、この事件の3ヵ月後に5号機、7ヶ月後には2号機で同様の制御棒脱落が起きていた。この事故が起きた時点で情報を水平展開していれば後の事故は防げた可能性を日本経済新聞は指摘している。

1978年 硫化水素ガス中毒事故(号機不明)

現場には十分なガス検知器も無かった。

1980年1月 1号機定期検査時の作業員被ばく事故

証言者は平井憲夫で、平井の監督の下10数名で中に入った。汚染度はほぼ全員が5000カウント以上。最大はSの52万4866カウントだった。Sが人並みのカウントに戻るまでに3年4ヶ月を要し、作業の日以降、だるさや頭痛、歯茎からの出血に悩まされたという。

1981年5月12日 2号機でスクラム発生事故

2号機で復水器から原子炉に冷却水を戻す「給水ライン」の電源装置に異常が発生、ポンプ計4台が連鎖的に停止し原子炉に水が戻らなくなるトラブルが発生し、最終的にスクラムがかけられた。このトラブルは当時

ECCSが作動していたが公表されず、1992年9月29日に同機にてスクラムのトラブルが発生した際、資源エネルギー庁がマスコミの要求に応じて過去のECCS作動事故の一覧を公開した際明らかとなった。

1982年11月 4号機定期検査中の汚染水漏れ事故

1982年~1983年頃、4号機の定期検査中に未熟な社員が間違ったバルブ操作をして汚染水を空調ダクトに流出させたことがあり、高濃度に汚染されたダクトを秘密裏に処理したこともあるという。

1990年9月9日 3号機自動停止事故

主蒸気隔離弁を止めるピンが壊れた結果、原子炉圧力が上昇して「中性子束高」の信号により自動停止した。INESレベル2。

1991年6月13日 1号機検査データ偽造

格納容器の気密試験の漏洩率を隠蔽するため、圧縮空気を注入して国の定期検査を偽装して合格した。これにより1号機は1年間の運転停止処分となった。

1998年2月22日 4号機で制御棒が抜ける事故

定期検査中、137本の制御棒のうちの34本が50分間、全体の25分の1(1ノッチは約15cm)抜けた。

2000年7月 1~6号機 自主点検データの改ざん

過去の自主点検検査記録などのデータ改ざんが行われていたことが原子力安全・保安院への内部告発により発覚し、2002年には東京電力もデータ改ざんがなされていた事実を認め、社長南直哉等当時の首脳陣が引責辞任した(東京電力原発トラブル隠し事件)。

2004年8月 全プラント再調査

8月13日、建設時に使われたコンクリート用の砂利を納入した骨材製造会社の元従業員による告白で、アルカリ骨材反応性試験の成績書を捏造し、品質保証をすり抜けていた事実が報道された。再発防止策としては、試験成績書原本を第3者機関から直接受領し、サンプルすり替え対策として発送時に第3者機関の職員による立会い確認をすることとした。

2010年6月17日 2号機水位低下事故

3号機プルサーマルのためMOX燃料を導入しようとした矢先に、2号機で発生した事故。

2011年3月11日 1・2・3・4号機メルトダウン・火災爆発事故。INESレベル7の「深刻な事故」。

2020年1月30日作成 「アヒンサー」
(目からウロコ FC2 アヒンサー)

*アヒンサーとはサンスクリーン用語で、「殺されたくない、殺したくない」という意味です。